

2016年3月期 第2四半期 決算説明会

株式会社 安永

証券コード:7271

2015年11月25日



将来見通しに関する注意事項



本資料に記述している業績予想および将来予測は現時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれます。その為、様々な要因によって実際の業績が記述する将来の見通しと異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います。

したがって、投資に関する最終決定につきましては上記を踏まえ、投資家の皆様ご自身のご判断で行われるようお願い致します。
本資料に掲載する情報に全面的に依拠して投資判断を下されることはお控えいただきますようお願い致します。

- **トピックス**
- 2016年3月期 第2四半期決算概要
- 2016年3月期 通期業績予想
- 第4次中期経営計画の取組み



新規ラインの立上げ状況

今期新規に立上げ、量産開始したライン

タイ：コンロッド 4ライン（さらに来期1ラインを追加予定）

韓国：コンロッド 1ライン（9月量産開始）

国内：カムシャフト 1ライン（7月量産開始）

コンロッド 1ライン（2016年3月量産開始予定）



タイ コンロッドライン（2015年1月量産開始）



韓国 コンロッドライン（2015年9月量産開始）

メキシコに子会社設立

グローバル展開の一環として、北米地域における自動車生産の拡充に対応し、更なる競争力向上を図るため、メキシコに生産子会社を設立。エンジン部品の海外生産拠点としては、インドネシア、韓国、タイに次ぐ4拠点目。工場用地を取得し、現在工場建屋の建設準備中。

- | | |
|----------|------------------------------|
| (1) 名称 | Yasunaga Mexico S.A. de C.V. |
| (2) 所在地 | メキシコ合衆国ハリスコ州ラゴス デ モレノ市 |
| (3) 事業内容 | エンジン部品及び工作機械の製造、販売 |
| (4) 資本金 | 80百万ペソ(約5.9億円) |
| (5) 敷地面積 | 約30,000m ² |
| (6) 設立 | 2015年7月 |
| (7) 操業 | 2018年夏頃 (予定) |



工場完成イメージ

- トピックス
- **2016年3月期 第2四半期決算概要**
- 2016年3月期 通期業績予想
- 第4次中期経営計画の取組み





ワイヤソー



検査測定装置



工作機械



エアポンプ



ディスポーザ



コンロッド



シリンダーヘッド



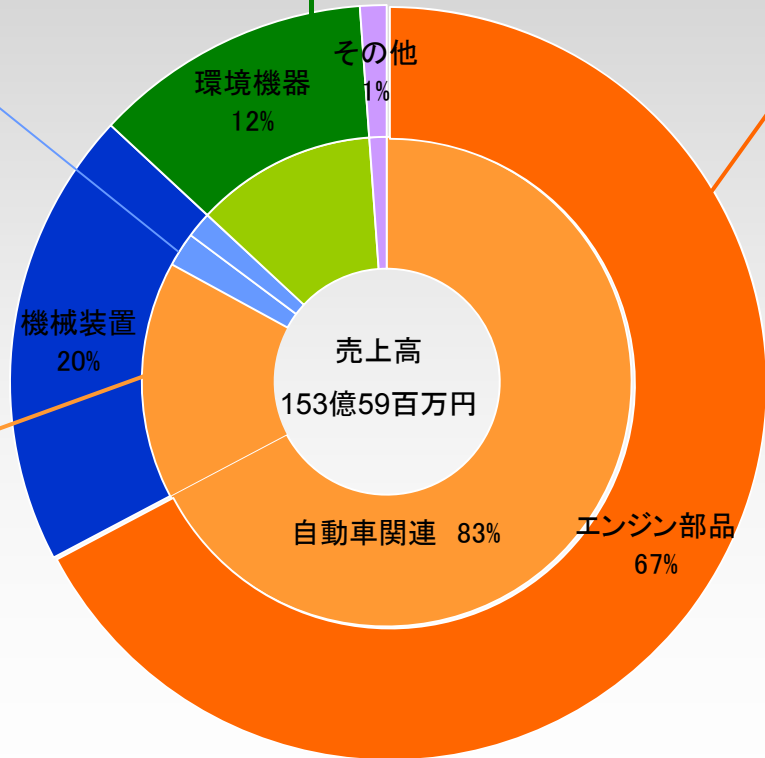
シリンダーブロック



カムシャフト



クランクシャフト



第2四半期 決算トピックス

エンジン部品事業、環境機器事業における売上の増加及び原価低減効果により、営業利益は改善。
 海外子会社の外貨建て借入金に対して為替評価損を計上したこと等に伴い、経常利益及び四半期純利益は悪化。

(単位:百万円)

	15年3月期 第2四半期	16年3月期 第2四半期	対前年同期	
			増減額	増減率
売上高	14,135	15,359	1,223	8.7%
営業利益 (対売上比)	116 (0.8%)	180 (1.2%)	64	55.6%
経常利益 (対売上比)	130 (0.9%)	32 (0.2%)	△ 97	△ 75.1%
四半期純利益 (対売上比)	41 (0.3%)	△ 96 (△ 0.6%)	△ 137	—

第2四半期決算：セグメント別 売上高・営業利益（連結）

【対前年同期】

売上高の（ ）は構成比

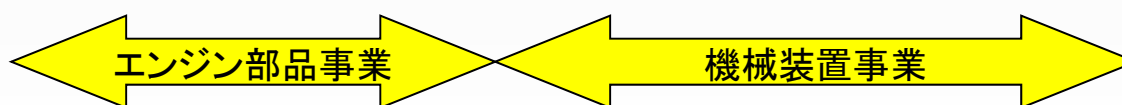
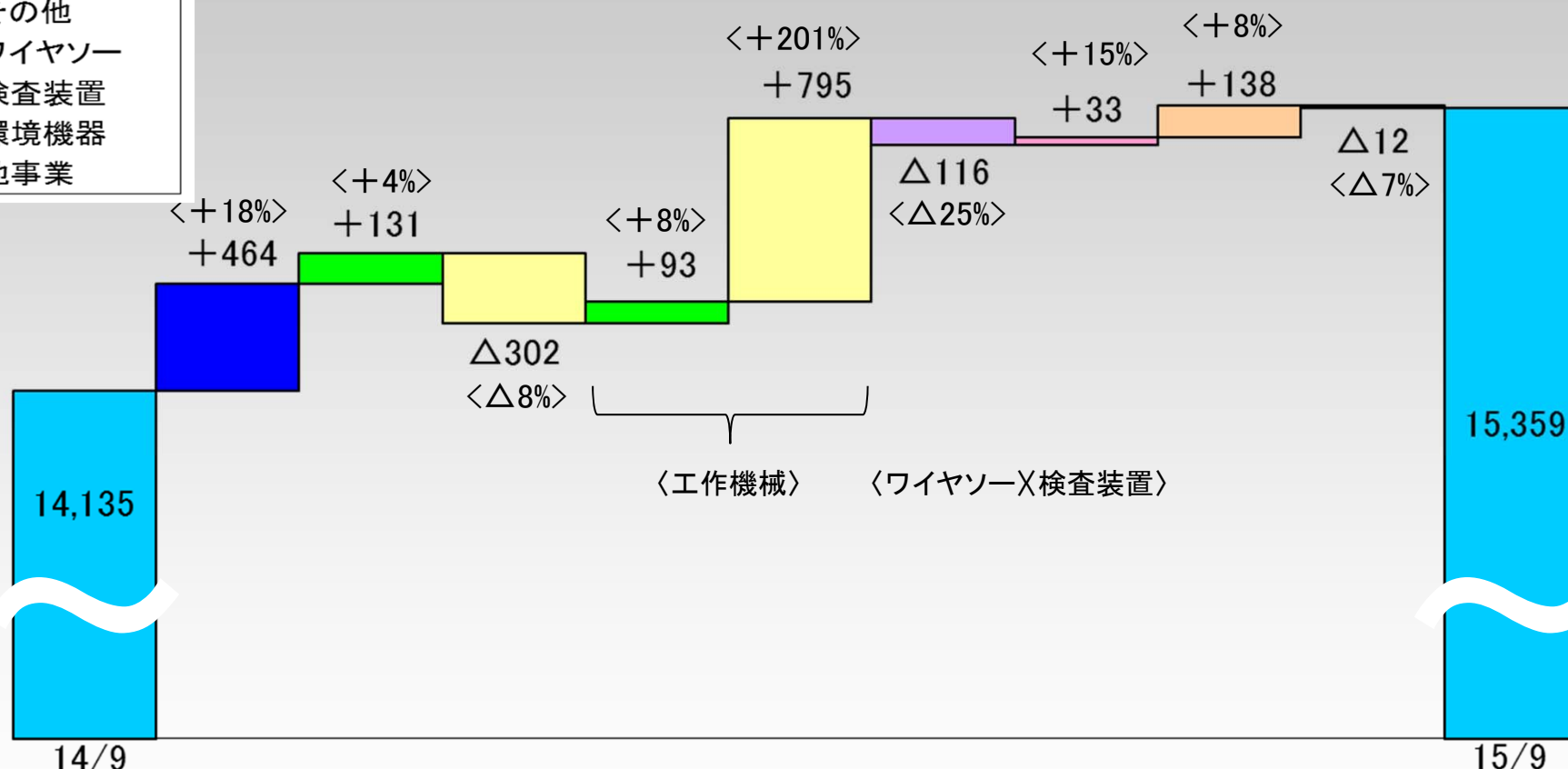
営業利益の（ ）は営業利益率

(単位：百万円)	売上高			営業利益			売上増減理由
	15年3月期 第2四半期	16年3月期 第2四半期	対前年増減	15年3月期 第2四半期	16年3月期 第2四半期	対前年増減	
エンジン部品	10,039 (71.0%)	10,332 (67.3%)	292 (2.9%)	36 (0.4%)	119 (1.2%)	82 (227.9%)	GMグループ +4.6億 トヨタグループ +1.3億 その他 △3.0億
機械装置	2,212 (15.7%)	3,017 (19.7%)	805 (36.4%)	27 (1.2%)	△ 85 (△2.8%)	△ 112 -	工作機械 +8.8億 ワイヤソー △1.1億 検査測定装置 +0.3億
環境機器	1,696 (12.0%)	1,834 (11.9%)	138 (8.2%)	73 (4.3%)	167 (9.1%)	93 (126.8%)	安永エアポンプ +1.2億 安永クリーンテック +0.3億
その他・調整	187	174	△ 12	△ 21	△ 20	0	
合計	14,135 (100.0%)	15,359 (100.0%)	1,223 (8.7%)	116 (0.8%)	180 (1.2%)	64 (55.6%)	

第2四半期決算：連結売上高 増減要因（得意先別）

（単位：百万円） < >は対前年同期増減率

- GMグループ
- トヨタグループ
- その他
- ワイヤソー
- 検査装置
- 環境機器
- 他事業



第2四半期決算：損益計算書の状況（連結）

【対前年同期】

(単位：百万円)

	15年3月期 第2四半期		16年3月期 第2四半期		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	14,135	100.0%	15,359	100.0%	8.7%
売上原価	12,346	87.3%	13,478	87.8%	9.2%
販管費	1,673	11.8%	1,699	11.1%	1.6%
営業利益	116	0.8%	180	1.2%	55.6%
営業外収益	107	0.8%	37	0.2%	△65.0%
うち為替差益	33	0.2%	—	—	—
営業外費用	93	0.7%	186	1.2%	98.7%
うち支払利息	54	0.4%	80	0.5%	48.0%
うち為替差損	—	—	65	0.4%	—
経常利益	130	0.9%	32	0.2%	△75.1%
税前三半期純利益	123	0.9%	34	0.2%	△72.0%
法人税等合計	81	0.6%	130	0.9%	59.9%
うち法人税等調整額	5	0.0%	17	0.1%	241.2%
四半期純利益	41	0.3%	△96	△0.6%	—

第2四半期決算：貸借対照表の状況（連結）

【対前期末】

（単位：百万円）

	2015年3月期	2015年3月期 第2四半期	増減額
流動資産	14,707	15,938	1,230
固定資産	17,577	17,169	△ 408
資産合計	32,285	33,108	822
流動負債	11,858	13,296	1,437
固定負債	8,510	8,284	△ 225
純資産	11,917	11,527	△ 389
負債・純資産合計	32,285	33,108	822
有利子負債	13,536	13,831	294
自己資本比率	36.9%	34.8%	△2.1P
一株当たり純資産	996.10円	963.54円	△32.56円

主たる増減	
流動資産	
現金及び預金	+740百万円
仕掛品	+367百万円
固定資産	
建設仮勘定	△274百万円
建物及び構築物	△114百万円
流動負債	
支払手形・買掛金	+667百万円
短期借入金	+200百万円
未払金	+104百万円
固定負債	
社債	△110百万円
リース債務	△103百万円
純資産	
その他包括利益累計額	△233百万円
利益剰余金	△156百万円

第2四半期決算：キャッシュ・フローの状況（連結）

【対前年同期】
（単位：百万円）

	15年3月期 第2四半期	16年3月期 第2四半期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	33	1,230	1,197
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,186	△ 833	1,353
財務活動による キャッシュ・フロー	734	259	△ 475
現金及び現金同 等物の増減額	△ 1,418	678	2,097
現金及び現金同 等物の期末残高	2,821	3,782	960

POINT（主たる要因）

営業活動によるCF	減価償却費	+ 709
	仕入債務の増加	+ 689
	前受金の増加	+ 248
	たな卸資産の増加	△ 841
投資活動によるCF	有形固定資産の取得	△ 731
財務活動によるCF	有利子負債の増加	+ 294

第2四半期決算：有利子負債の状況（連結）

（単位：百万円）

	15年3月末	15年9月末
有利子負債（D）	13,536	13,831
現金及び預金	3,217	3,957
ネット有利子負債（D）	10,319	9,873
純資産（E）	11,917	11,527
D/E レシオ	1.14倍	1.20倍
ネット D/E レシオ	0.87倍	0.86倍

- トピックス
- 2016年3月期 第2四半期決算概要
- **2016年3月期 通期業績予想**
- 第4次中期経営計画の取組み



通期業績予想：2016年3月期 売上高・利益（連結）



（単位：百万円）

	15年3月期 通期	16年3月期(予想)			対前年 増減率
		上期(実績)	下期	通期	
売上高	29,605	15,359	16,641	32,000	8.1%
営業利益 (対売上比)	150 (0.5%)	180 (1.2%)	170 (1.0%)	350 (1.1%)	133.0%
経常利益 (対売上比)	339 (1.1%)	32 (0.2%)	18 (0.1%)	50 (0.2%)	△85.3%
当期純利益 (対売上比)	86 (0.3%)	△ 96 (△0.6%)	△ 204 (△1.2%)	△ 300 (△0.9%)	—

通期業績予想：セグメント別 売上高・利益（連結）



売上高の（ ）は構成比％ 営業利益の（ ）は営業利益率％

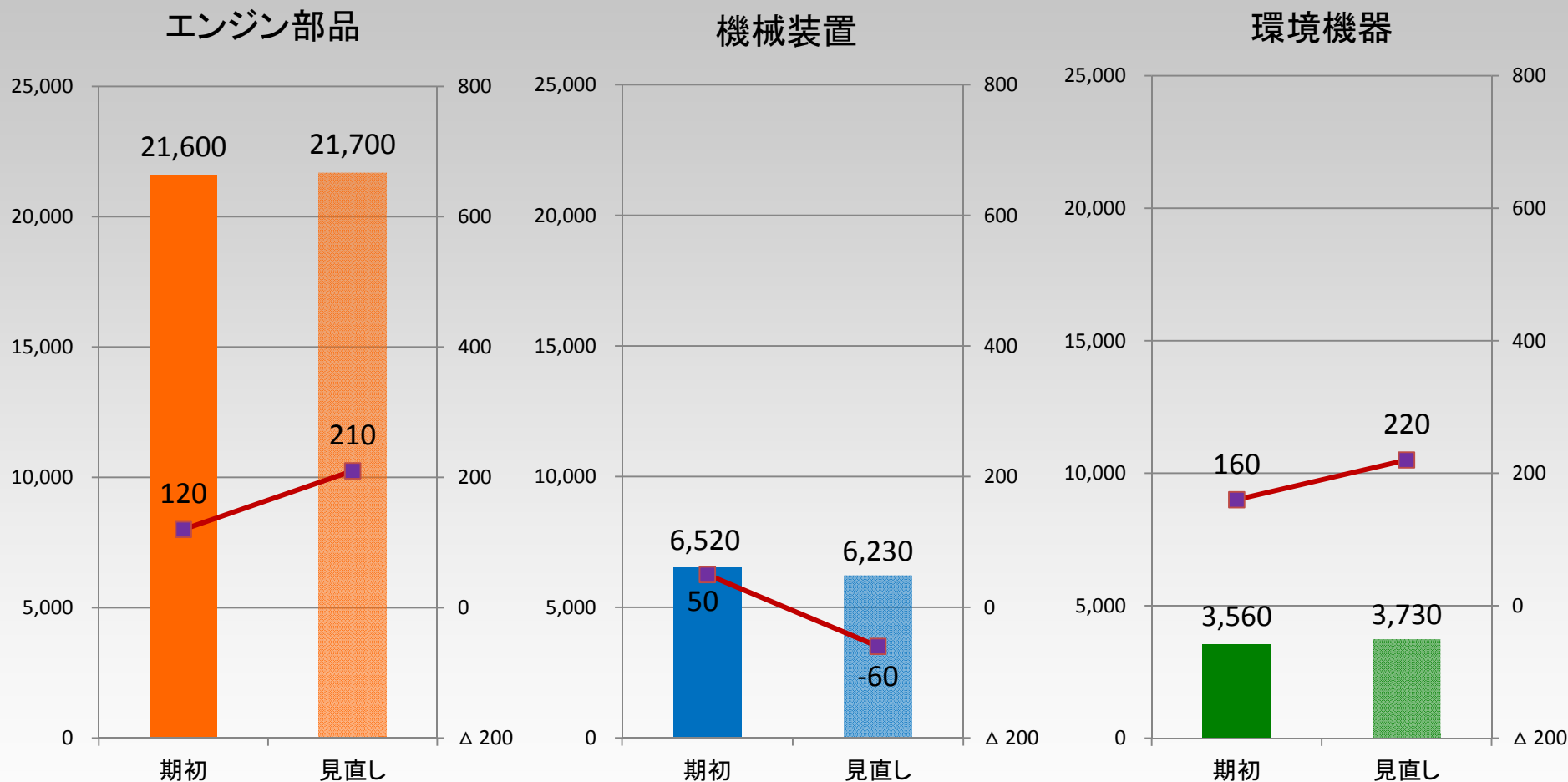
(単位:百万円)	売上高				営業利益			
	15年3月期	16年3月期 予想			15年3月期	16年3月期 予想		
	実績	上期(実績)	下期	通期	実績	上期(実績)	下期	通期
エンジン部品	20,159 (68.1%)	10,332 (67.3%)	11,368 (68.3%)	21,700 (67.8%)	△ 185 (△0.9%)	119 (1.2%)	91 (0.8%)	210 (1.0%)
機械装置	5,474 (18.5%)	3,017 (19.7%)	3,213 (19.3%)	6,230 (19.5%)	127 (2.3%)	△ 85 (△2.8%)	25 (0.8%)	△ 60 (△1.0%)
環境機器	3,595 (12.2%)	1,834 (11.9%)	1,896 (11.4%)	3,730 (11.7%)	216 (6.0%)	167 (9.1%)	53 (2.8%)	220 (5.9%)
その他・調整	375	174	166	340	△ 8	△ 20	1	△ 20
合計	29,605 (100.0%)	15,359 (100.0%)	16,641 (100.0%)	32,000 (100.0%)	150 (0.5%)	180 (1.2%)	170 (1.0%)	350 (1.1%)

通期業績予想：セグメント別 売上高・利益（連結）



【期初と見直しの対比】

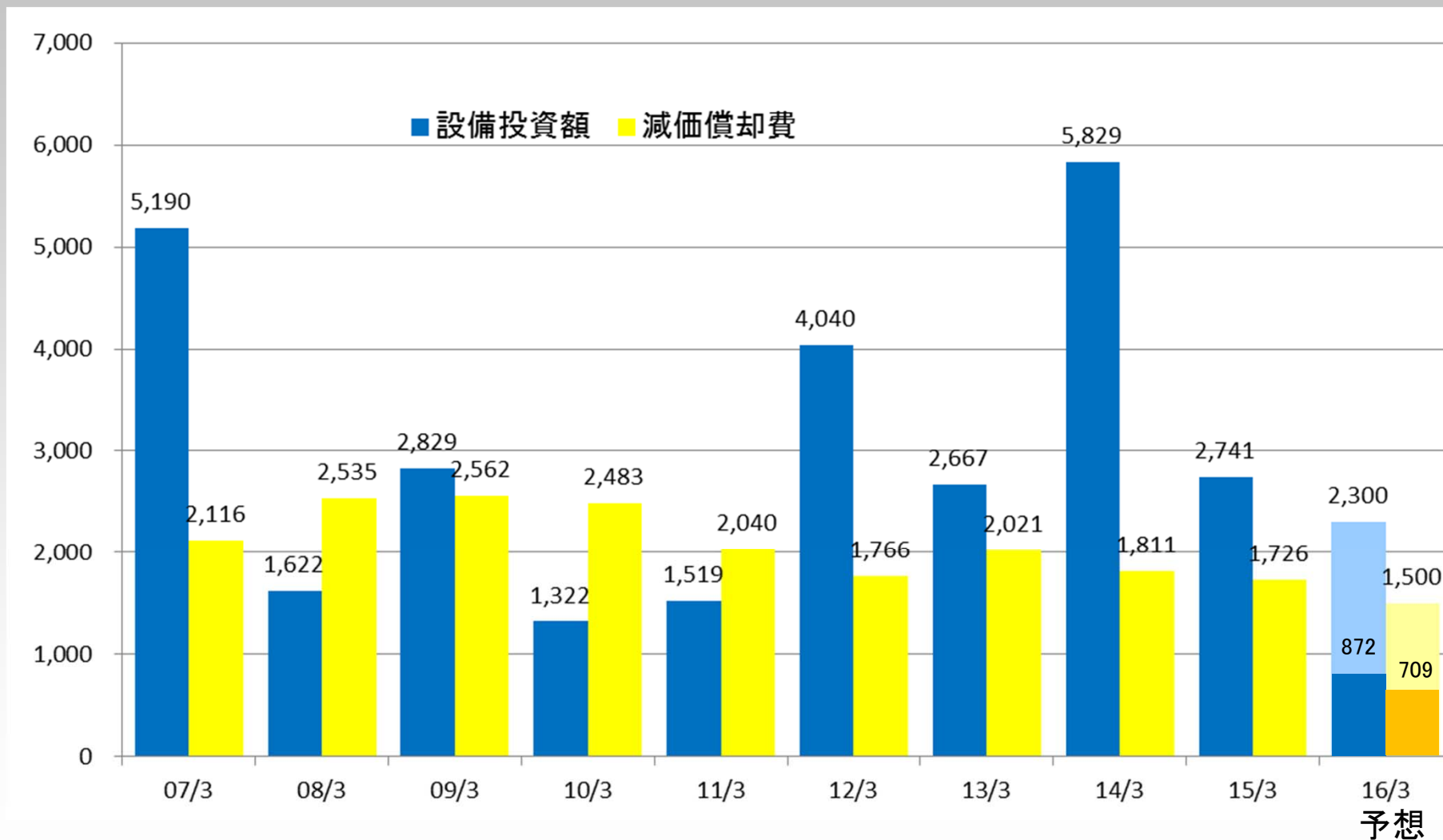
（単位：百万円）



エンジン部品事業及び環境機器事業において、原価低減活動等により利益率が良化する一方、機械装置事業は、戦略価格での受注、販売等により、利益率が悪化する見通し

設備投資・減価償却費の推移

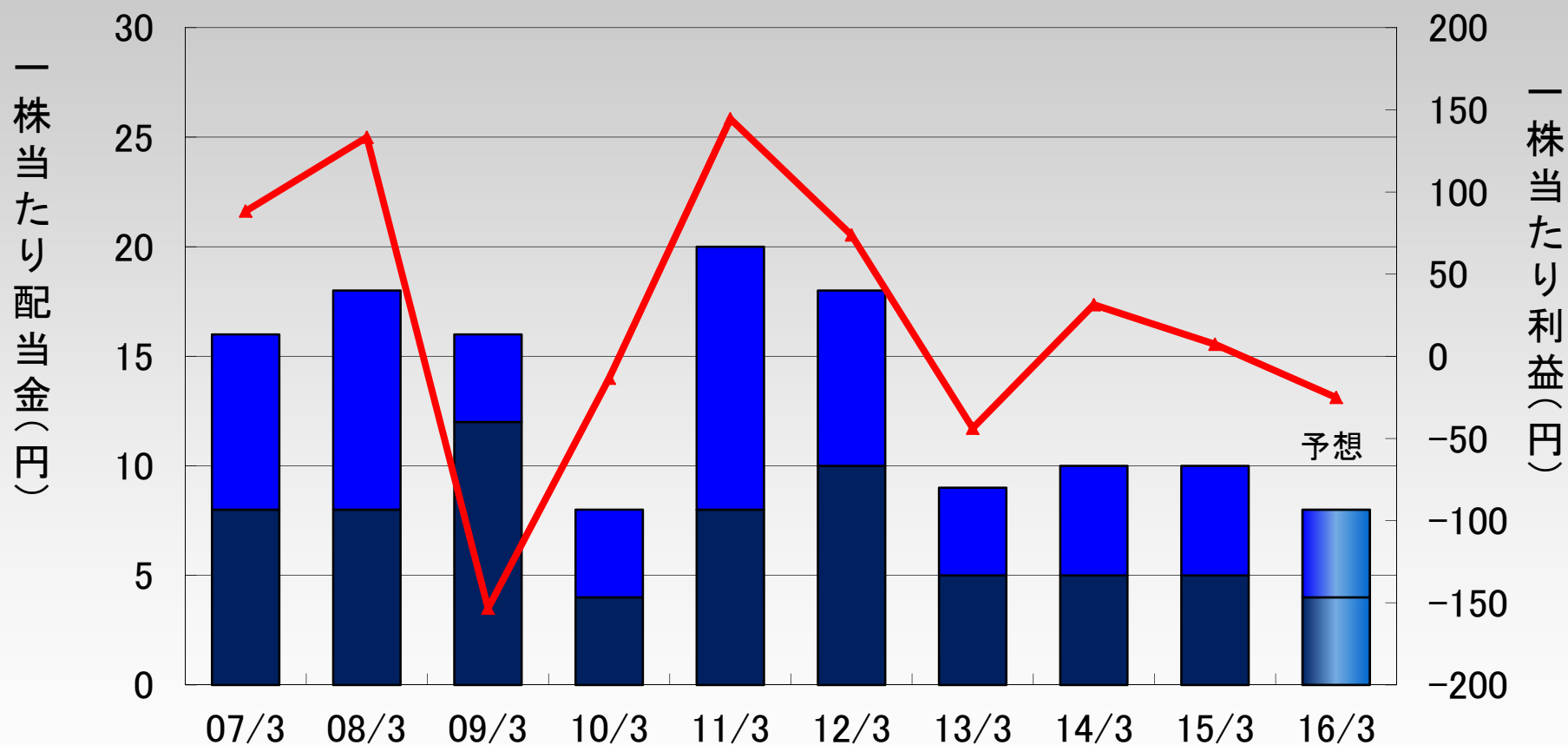
(単位:百万円)



株主還元



■ 1株当たり年間配当金 — EPSの推移



- トピックス
- 2016年3月期 第2四半期決算概要
- 2016年3月期 通期業績予想
- **第4次中期経営計画の取組み**



基本戦略

1. グローバルニッチNo.1

- ◇各事業体の取組み ⇒ 地域No.1、顧客No.1、製品No.1の達成／強化
- ◇グローバル地域の拡充 ⇒ 韓国工場・タイ工場の安定成長
インドネシア工場の拡充
次の生産拠点検討（メキシコ現地法人設立）

2. 新事業の創出

- ◇『二次電池用穴あき突起集電箔打・塗工・乾燥装置』
『シリサイド系熱電変換材料・発電素子』の事業化を目指す

3. 財務体質の強化

- ◇財務体質の強化継続

事業戦略

エンジン部品事業

◇自動車メーカーの生産体制に合わせた、生産拠点の体制強化を進める

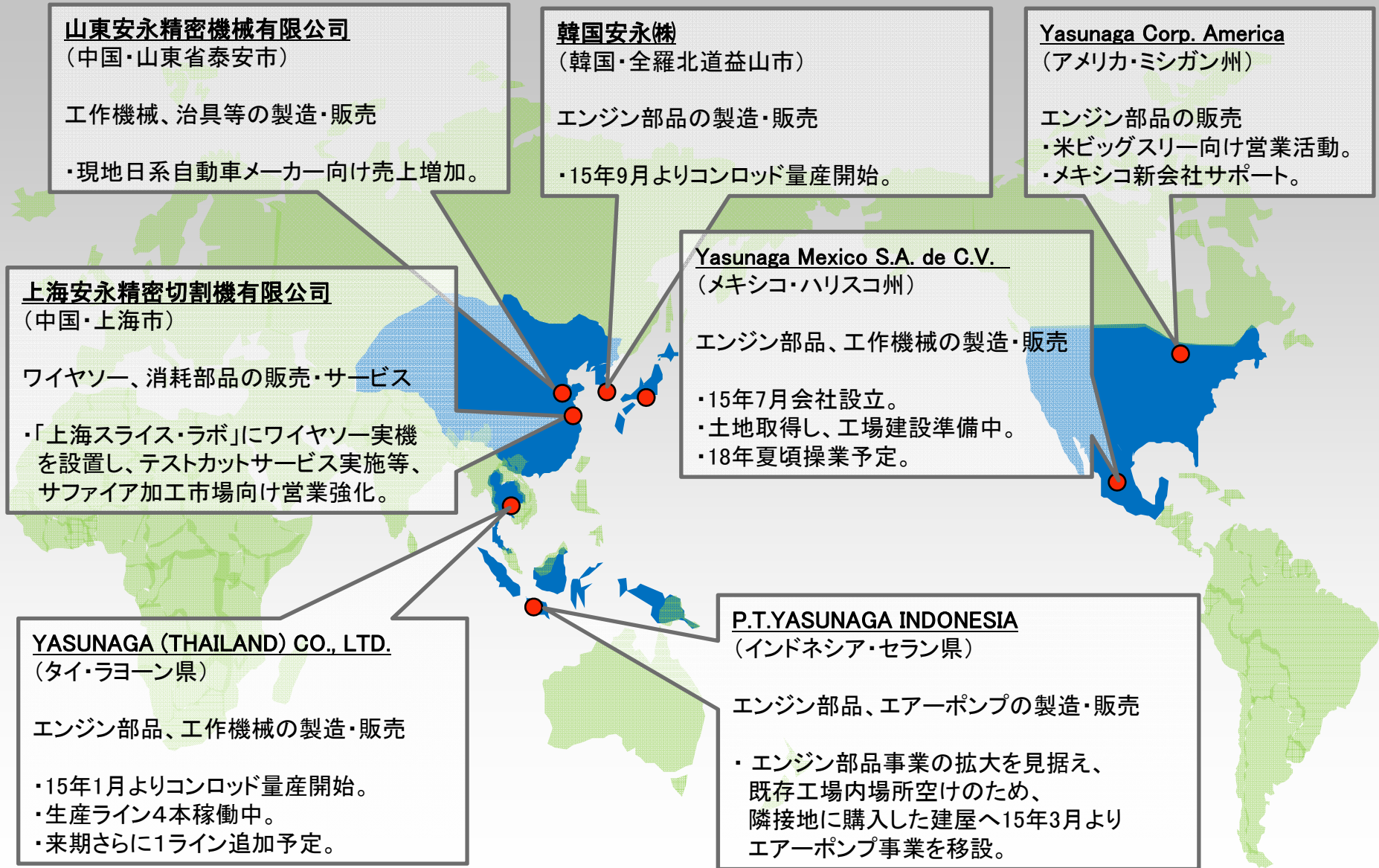
機械装置事業

◇成長市場を見極め、ニーズを先取りしたモノづくり技術を創出し
世界的な競争力を持った装置を開発する


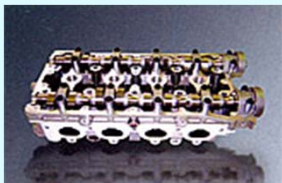

環境機器事業

◇「浄化槽用エアーポンプ」「燃料電池用エアーポンプ」「ディスポーザ」の
3本柱で、業界No.1の地位を固めるべく、更なるシェア向上を目指す

第4次中期経営計画 海外拠点の近況



エンジン部品の新規商談状況

製品名		16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期
ロンロン ド 	国内	● ●			
	海外	● ● ● ● ●	● ● ● ● ●	●	● ● ●
シリンダー ヘッド ド 	国内	● ●			
	海外				●
その他 	国内	●			
	海外				●

2016年度(最終年度) 連結業績目標値



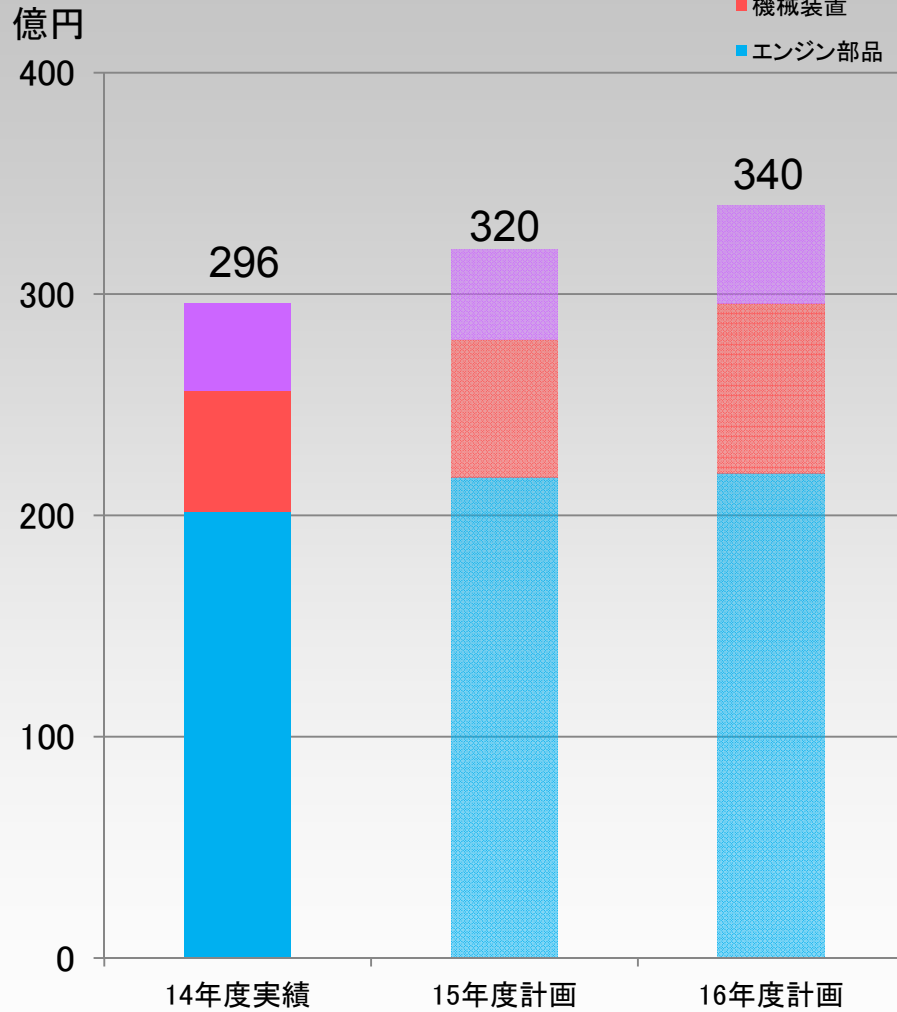
(単位:百万円)

	売上高	営業利益	営業利益率
エンジン部品事業	21,900	170	0.8%
機械装置事業	7,660	430	5.6%
環境機器事業ほか	4,440	420	9.5%
合計	34,000	1,020	3.0%

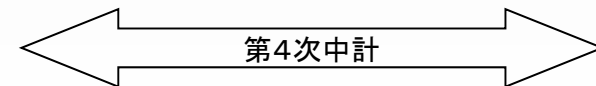
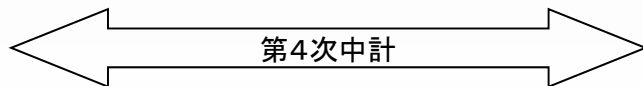
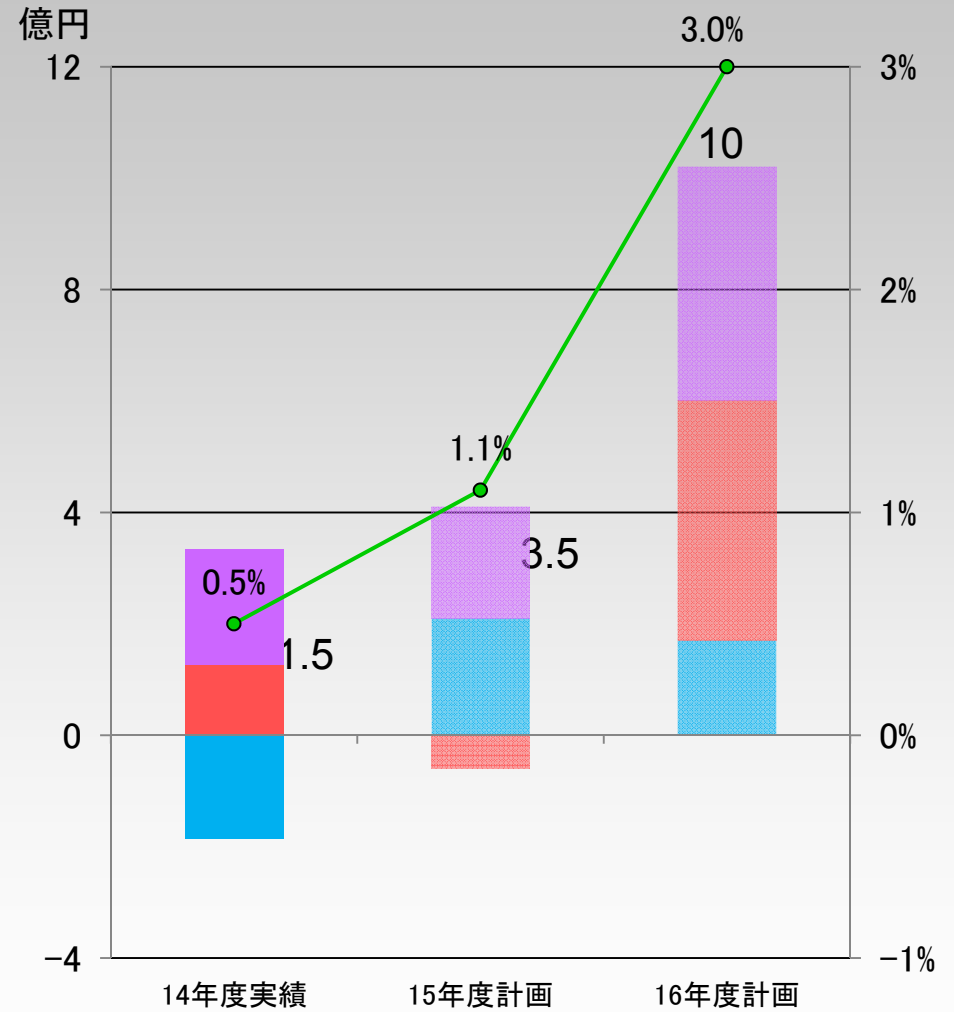
連結財務ベースの長期的な数値目標

自己資本比率	ROE (自己資本利益率)
40%以上	継続的に10%以上

連結売上高の推移



連結営業利益と営業利益率の推移

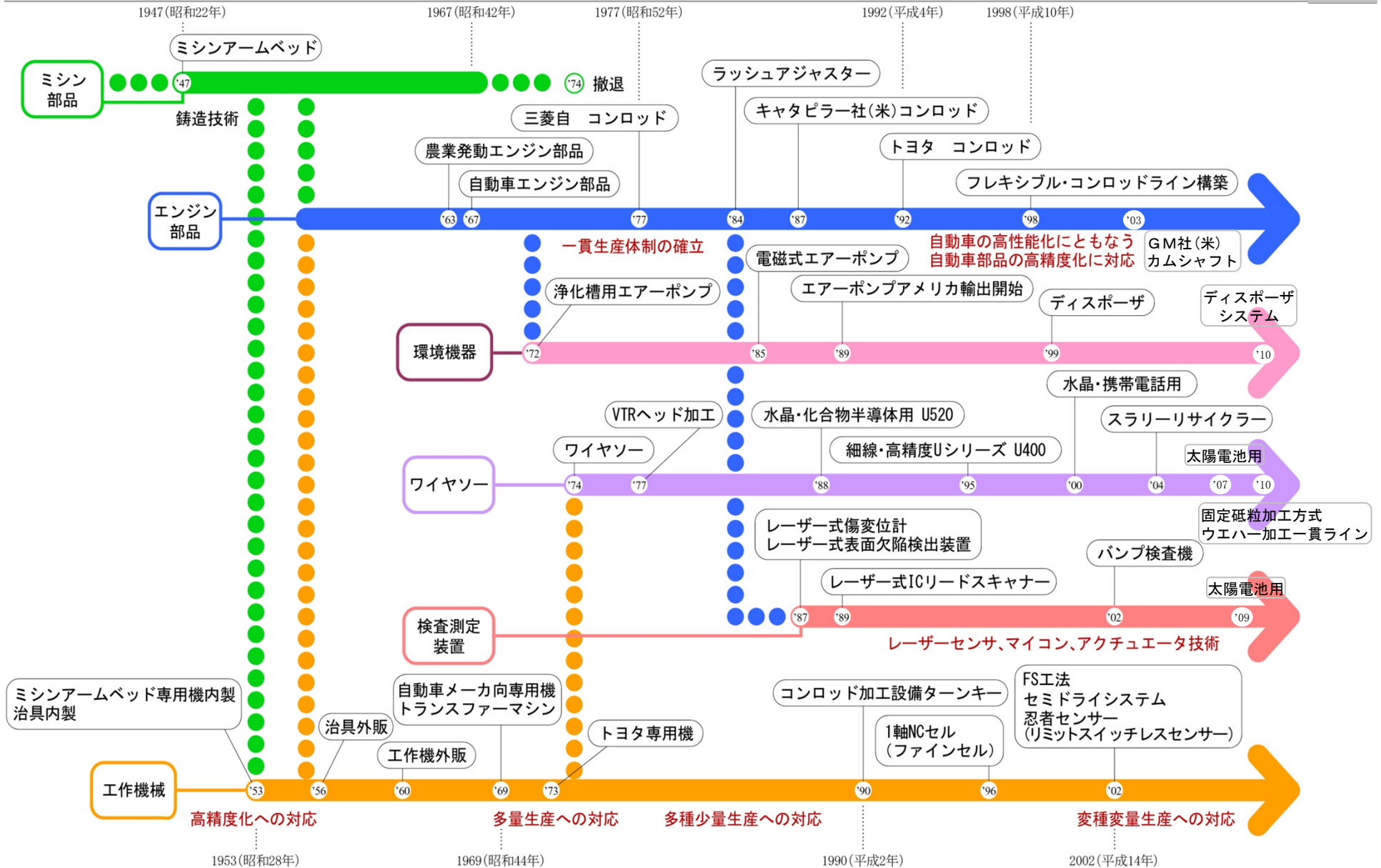


- **設 立** : 1949年9月(昭和24年)
- **代表者** : 代表取締役社長 安永 暁俊
- **上 場** : 東京証券取引所 1部 (2014年6月12日)
1単元の株式数 100株
- **事業内容**: エンジン部品、機械装置(工作機械、ワイヤソー、検査測定装置)、
エアープンプ及びディスプレイシステムの製造・販売
- **資本金** : 21億42百万円 <2015年3月期>
- **売上高** : 296億5百万円(連結) <2015年3月期>
- **従業員** : 1,665名(連結) <2015年9月30日現在>
- **事業所** : 本社(三重県伊賀市)
工場(伊賀市4、名張市1)
- **関連会社**: 国内 4社、海外 7社(6ヶ国)



製品技術の歩み

補足資料②



事業領域 エンジン部品事業



補足資料③

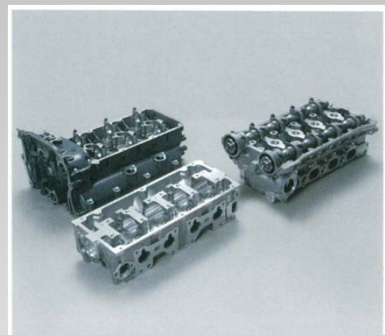
(%)はエンジン部品
製品別売上比率

【15年3月→15年9月】



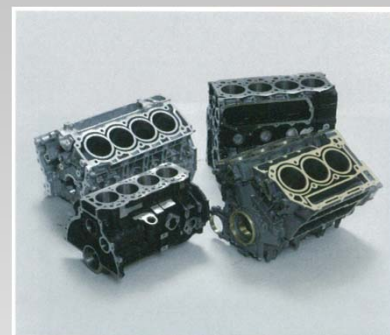
01 コネクティングロッド Connecting rod (47→47%)

トヨタ、三菱自、ダイハツ、三菱ふそう、
CHRYSLER



02 シリンダーヘッド Cylinder head (11→14%)

韓国GM、スズキ、クボタ、三菱重工、
トヨタ



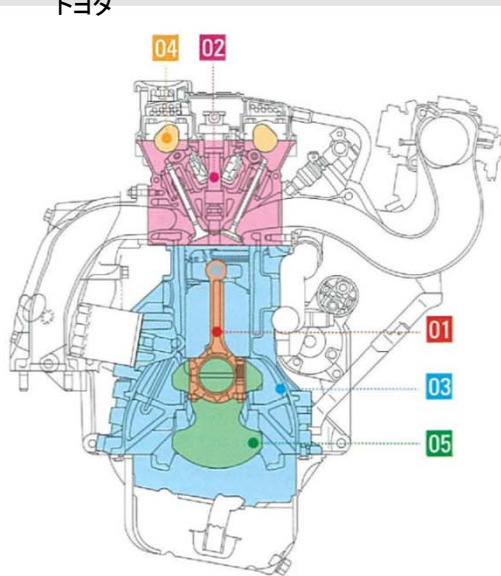
03 シリンダーブロック Cylinder block (16→14%)

三菱重工、スズキ、ダイハツ



04 カムシャフト Camshaft (15→16%)

GMPT、GMHOLDEN、三菱自



その他(9→7%)



05 クランクシャフト Crankshaft (2→2%)

韓国GM

自動車メーカーが
内製している
エンジン部品を
当社が生産

エンジン内部に組み込まれる
部品の生産・加工

エンジンの性能、
機能を熟知

高品質、低コストの
製品づくりを提案

【主要取引先】

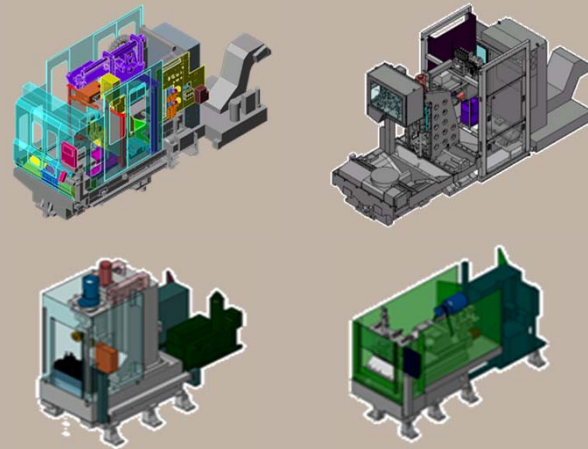
トヨタ自動車、韓国GM、GMPT、
三菱自動車工業、ダイハツ工業、
三菱ふそうトラック・バス、CHRYSLER、
三菱重工業、クボタ、スズキ、
GMHOLDEN等

専用機の
豊富な経験から
標準機を開発

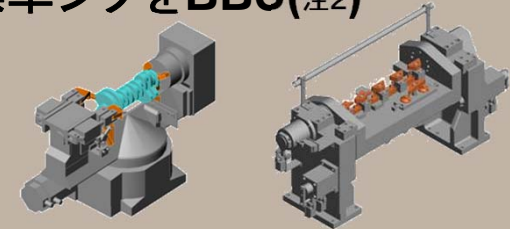
部品事業の
生技ノウハウを
開発、設計に
盛り込む

セルマシン(注1)で多くの実績

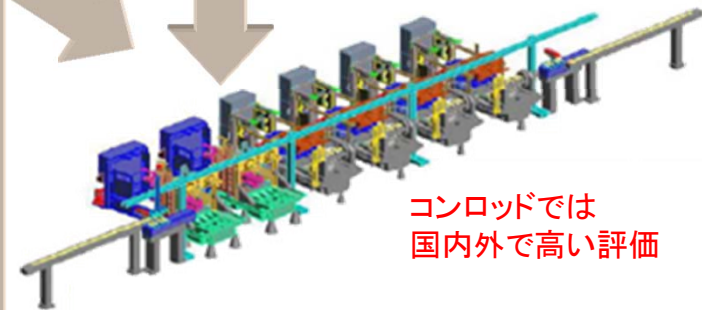
コンロッド、軸物(カムシャフト、
クランクシャフト)加工設備



標準ジグをBBS(注2)



専用機で培ったノウハウを標準化



コンロッドでは
国内外で高い評価

ターンキー受注に対応可能

低コスト、高品質の製品づくりを提案

注1: 工程特化型マシニングセンター

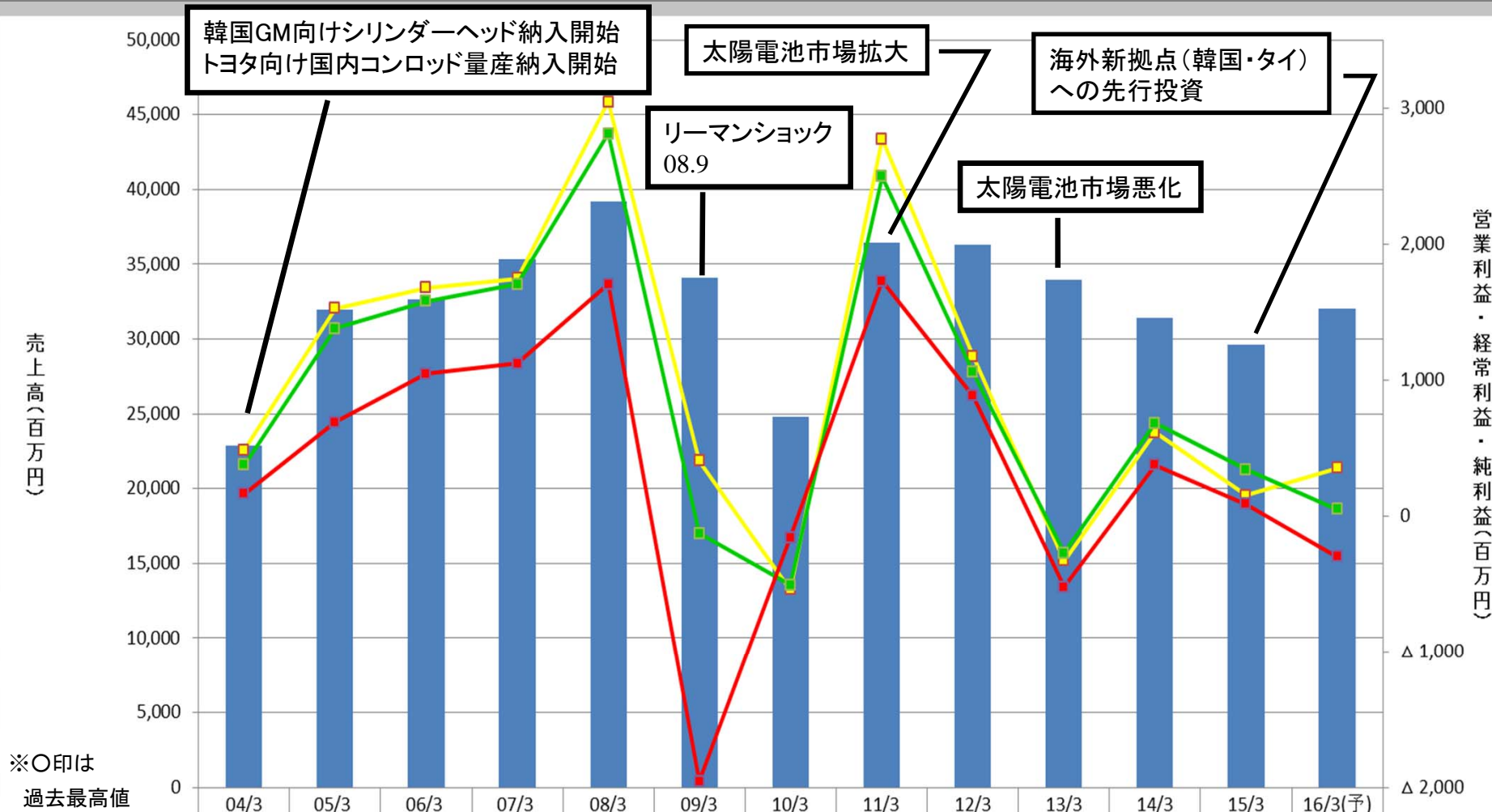
注2: Build Block Systemでセルマシンに組付け

【主要取引先】

国内自動車メーカー及び関連メーカー(トヨタ系、ホンダ系など)
海外自動車メーカー(中国、韓国など)

売上高・利益の推移（連結）

補足資料⑤



	04/3	05/3	06/3	07/3	08/3	09/3	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3(予)
■ 連結売上高	22,884	31,980	32,653	35,324	39,207	34,070	24,810	36,445	36,314	33,966	31,439	29,605	32,000
■ 連結営業利益	485	1,525	1,676	1,744	3,044	406	△ 542	2,770	1,175	△ 332	614	150	350
■ 連結経常利益	373	1,376	1,580	1,705	2,809	△ 131	△ 509	2,494	1,055	△ 275	680	339	50
■ 連結純利益	162	690	1,046	1,121	1,704	△ 1,956	△ 159	1,728	882	△ 524	375	86	△ 300